

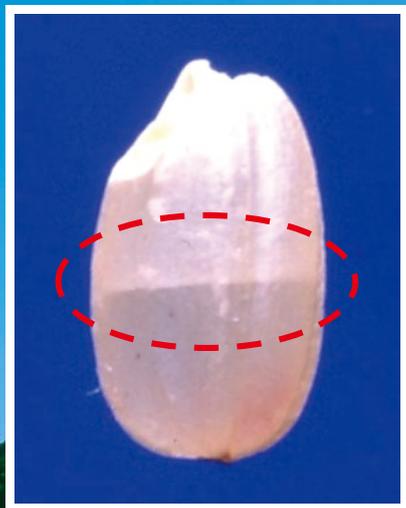
# 猛暑に備えた 対策を!!

高温障害(胴割粒・白未熟粒等)を防ぎましょう!

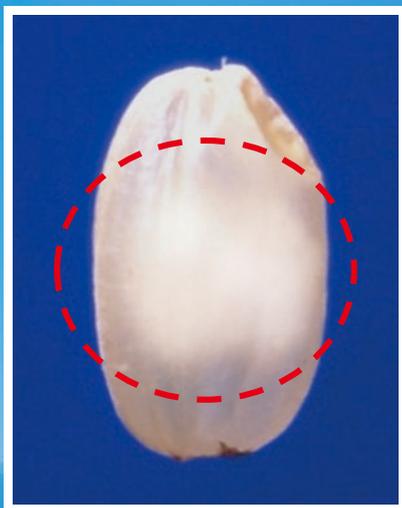
生産者の皆様へ



栃木県内では夏季の高温等の影響により胴割粒及び白未熟粒が発生し、**2等以下に検査格付けされる大きな理由**となっています。取引先からも胴割粒は取引してもらえない場合があることから、胴割粒の発生防止を『**栃木米の品質向上に向けた大きな課題**』として取り組みましょう。



胴割粒



白未熟粒

胴割粒  
と  
白未熟粒は  
お米の評価を  
下げます!!

- 農業振興事務所、JA等からの情報提供を参考に品質向上に努めましょう。

詳しくは裏面に掲載してありますのでご覧ください

JAグループ栃木担い手サポートセンター  
**LINE@友だち募集中!**

営農に関する情報を随時発信中!  
QRコードまたはID検索より登録をお願いします!

ID: @jatochisaposen



# 胴割粒と白未熟粒を防ぐには？



根を健全に保つ  
作土深確保



収穫期まで活力のある根を維持する土づくりのため、作土が浅いと多発するので**耕深20cmを目標**にしましょう。

ケイ酸カリの  
中間追肥



出穂前40日前後頃に**ケイ酸カリ**又は**塩化カリ**を施用し根の活性化を図りましょう。

出穂期以降の葉色  
を淡くし過ぎない



出穂期以降の葉色を過度に淡くすると**胴割粒**や**白未熟粒**等の発生要因となります。適切な施肥とこまめな水管理を。

出穂から20日間  
ほ場内地温を  
下げよう



出穂後の高温時には、**かん水**などにより、地温の低下を図りましょう。

※水利用については、用水を管理している土地改良区や水利組合において話し合ってください。

落水時期は  
出穂後30日以降に



早期落水は、**品質・食味**を低下させます。落水は出穂後30日以降にできるだけ遅くしましょう。

※落水後も高温・多照が続く場合は、ほ場条件を考慮して収穫前まで走水を実施しましょう。

収穫は帯緑色粉率  
10%から



刈り遅れは、**胴割粒**発生の大きな要因です。収穫は帯緑色粉率10%（黄化粉率90%）から始め、3%までに終了しましょう。

収穫後の急激な  
乾燥はしない



粉水分が高い時は、**通風乾燥・やや低い温度**でゆっくり乾燥しましょう。

：胴割粒対策

：白未熟粒対策

：胴割粒・白未熟粒対策